

目 次

馬事往来

- 『凱旋門賞をめぐる人たち』— 2024年、凱旋門賞観戦記 …… 三浦暁子 …… 1
馬の柵囲い「チャツ」「チャチ」
—馬産界に残された言葉とアイヌの文化 …… 中野良宣 …… 8
馬との交流がもたらす高齢者のQOLへの効果
～馬介在サービスの観点より～ …… 塚本めぐみ …… 12

海外渡航成果報告

- 第40回国際動物遺伝学会参加報告：新たな知見と国際交流の場 …… 吉原知子 …… 16
日本ウマ科学会第38回学術集会 優秀発表賞受賞者紹介 …… 21
学会記事 …… 22
協賛団体・賛助会員名簿 …… 33
編集後記 …… 34

Hippophile No. 104

— 編集委員 —

編集担当常任理事・編集委員長	楠瀬 良 (日本装蹄協会)	
編集委員	阿部 憲二 (全国乗馬倶楽部振興協会)	末崎 真澄 (馬の博物館)
	明石祐一郎 (地方競馬全国協会)	関 正喜 (ジャーナリスト)
	荒川由紀子 (サラブレッド・アフターケア・ アンド・ウェルフェア)	戸崎 晃明 (競走馬理化学研究所)
	有吉 正徳 (競馬ライター)	永井富美子 (エディター)
	安齊 了 (元JRA/競走馬理化学研究所)	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	北野あづさ (日本馬術連盟)	古林 英一 (北海学園大学)
	木村李花子 (東京農業大学)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 高志 (JRA 競走馬総合研究所)	山下 大輔 (日本馬事協会)

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1センチ多色刷り
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science